

# 冬でも暖房いらず

能代市 日沼工務店が開発



モデルハウス完工

## 性能実証後に販売

冬でも暖房のいらない最新の高気密・高断熱住宅を、能代市の住宅メーカー、日沼工務店(日沼友明社長)が開発し、二十三日にモデルハウスの完工式を行った。

日沼工務店が開発した冬でも暖房がいらぬ住宅

今後一年間、データを採取して住宅性能を実証した後、無暖房住宅として販売する。二十六、二十七の両日は一般公開も行う。

モデルハウスが完成したのは同市落合の住宅地。在来木造軸組工法の二階建てで、延べ床面積は約二百六十平方メートル。内側から吹き付け式の断熱材九枚、外側から十枚の断熱ボード二枚を重ねて張り、二つの通気層を設けたため、外壁の厚さは合わせて約五十センチ。熱交換率90%の換気システムにより、二十四時間換気を行う。

断熱性能を表す熱損失係数

は、同社の従来の工法が一・三程度だったのに対し、無暖房住宅は〇・五二四(計算値)と、大幅に性能が向上するといふ。オール電化式で、家事や照明、家電製品などから発生する熱だけで、外気温が零度のときでも、室内温度を十八度に保つことを目指している。

モデルハウス脇で神事を行った後、関係者がモデルハウスを見学した。日沼社長は「木造ではこれが限界という性能を目指した。冬場の暖房による二酸化炭素の発生を抑え、地球温暖化問題に貢献できる次世代型省エネルギー住宅を、能代から全国に発信したい」と話していた。